

ボランティアレポート

松寿園の俳句会に協力して

音6-文 湯口 澄比古

私達、俳句同好会有志は長田区丸山にある市立ケアハウス松寿園で、平成12年8月から俳句会の指導をはじめて5年になります。メンバーは金田英夫(食文6期)ら4名ですが月1回、同園入居者の中から約10余名が参加しています。

人生経験の豊富な方々ですが、俳句は初めてという人がほとんどです。精神的にも落ち着けるよい環境に来て、花鳥諷詠の心境になられたからでしょうか、皆さん大変熱心です。

特に奥田園長が率先して参加者を募ってくださり、とても和やかな雰囲気の中での句会です。皆さんの句風は素直に身の回りのことをさり気なく句にします。私たちの句会は歳時記を片手に、まず季語、そして五、七と付けてゆくのですが、ここの人たちはそんなことはお構いなしです。

私たちも「身の回りの事象を季節の言葉を入れて詠んで下さい」と初心の方に教えました。だから古い歳時記からの感覚でなく、新鮮な現代俳句の作風を感じます。世俗な表現ですが、ボケると俳句など作れない。ボケ防止に、頭の体操

に、俳句などを捻るのはよいことだ一という人もいますが、私は同感です。俳句に限らず頭脳は老いても刺激し使う事は、体の健康にはとにかく“歩け”といわれるのと同じで、へたな健康食品を摂るより大事だと思います。

この松寿園には50名の健全な高齢者の方々が幸せそうに日々を送っておられます。老人ホーム特有の暗さはありません。私たちも手を取り合って一緒に俳句を楽しみながら歩いて行きたいと思います。

入園者の中には句作の経験者も居られるようで、上達も早くなかなかの句にも出会います。数多い句の中から代表作を選びました。(第50回記念句集より)

嵯峨菊のかおりひそかに写経食む	菜の花や夕暮れ時のわらべうた	啓蟄に人の心も蠢いて	老いそめて花見る心ゆとりもち	母ありて松茸こんぶ炊きし日よ	梅雨晴れ間傘並びる子沢山	夏帽子深々かぶりて一人旅	七つや何を願うや卒路来て
凛々	紫津	拓	ひろ子	よう子	おもと	光子	珠

無痛無汗症の会

シンポジウム in 神戸

音5-い 黒木 幸子

「無痛無汗症」のシンポジウムが、昨年11月5・6日の1泊2日、しあわせの村”たんぼぼの家”で開かれました。全国から患者20名、専門医38名、ボランティア(ナースを含む)グループから4名が参加、難病に克服に皆さん熱心に取組んでおられました。

「無痛無汗症」とは遺伝性感覚・自律神経ニューロパチーともいわれ、先天的な難病です。(社会的に知名度は低い)病気の特徴は①全身に痛みを感じない②汗が出ない③知的障害(軽度~中度)を伴うことが多い。

これらの症状のため、病名

聞き方上手の講習会  
カウンセリングから学ぶ

グループ わ ではボランティア活動には欠かせない「聞き方上手」の講習会を1月17日、シルバーカレッジで開きました。講師に神戸市こども家庭センターの伊藤晴雄氏を招き、会員36名が熱心に受講しました。

昨年7月からこども家庭センターの夜間及び休日の電話相談を始めたのですが、相談者との対応が非常に重要となっています。

経験豊富な伊藤氏に聞き方、話し方について指導をお願いしました。カウンセリングの基本として、相談者を尊重し、相談内容に共感する。絶えず中立を守り、機を熟すのを待つこと。

相談内容を旨く聞き出すコツとして・内容の秘密を守る・相談時の間と沈黙・多弁と聞きすぎない・相手の視線と座り方・励ますことの功罪などを挙げています。

を診断されるまで種々の障害に気付かず、治療をしないまま死に至る危険もあった。平成5年、患者・家族により「無痛無汗症の会」(NPO法人)が設立された。

毎年1泊2日でシンポジウムが実施され、全国から患者、家族、この病気に関心のある専門医他スタッフが集まります。この日、集まった患者は幼児から20歳台の方たちでしたが、1家族に1名のボランティアがつき検診会、講演会、全体交流会があり、大変有意義な2日間でした。

ただご家族の精神的苦痛の大変さを実感しました。頑張っている皆さんの為にも厚生労働省より「特定疾患」として認定されることを心より願っています。

編集後記

ボランティアを辞書で引いてみると「社会事業などの篤志活動家、または無料奉仕で何かに参加する人」とある。私達グループ わ はボランティアを目的に設立されたのですが最近、ある区会では数年続けている観光ガイドの継続が危ぶまれています。ガイドを立ち上げた会員たちはせつかくの活動を続けるべきだと主張するが、新しい会員は精神的負担が大きいと辞めたいという。

また別の区会では今後、委託事業を受けるには無報酬では受けられない方針を打ち出しています。少なくとも交通費や必要経費が出ないと長続きはしないという理由。

ボランティアはあくまでも本人の自由意志で強制されるものではありません。時代と共に様変わりするボランティア活動のあり方が注目される。(J・N)



松寿園のお年寄りたちの楽しい俳句会のひと時